

東京理科大学報

発行所
東京都新宿区神楽坂1-3
東京理科大学
学報編集委員会
☎03-3260-4271
http://www.tus.ac.jp/
(年4回発行)



主な内容

- 2・3面 入学式グラフィック／授業改善アンケート
- 4面 2先生に名誉教授称号／新任教員紹介
- 5面 平成19年度予算／新任職員／私学助成金
- 6面 中村修二教授講演／英社と情報発信契約
- 7面 教育研究理念本文／平成18年度就職状況
- 8面 創立125周年記念寄付者芳名／理学会より
- 9面 山口謙助東京理科大学二重客
- 10面 平成18年度卒業式／長万部退寮式
- 11面 「理大・人」／学生表彰と学長表彰
- 12面 平成19年度入試総括／平成20年度の学費

東京理科大学

サイエンスフェア

6月2日(sat)、3日(sun)開催!
場所: 東京お台場 日本科学未来館

- ゆりかもめ「船の科学館」下車、徒歩5分
 - 「テレコムセンター」下車、徒歩4分
 - りんかい線「東京テレポート」下車、徒歩15分
 - 水上バス「船の科学館」下船、徒歩7分
- 詳細はHPへ。http://www.tus.ac.jp/

聴覚と視覚を通して先生から講義を受けることも重要な体験であり、深い理解が得られるはず。付いた刃ではない真の理解があつてこそ、自ら判断し、問題を解決する能力が養われるものです。

ところで、社会に役立つ人間として協調性、社会性、体力、忍耐力、指導力などを身につけるためには、授業以外の日常の過ごし方が重要です。良い交友関係、課外活動、ボランティア活動などを積極的に行っていただきたいと思います。皆さんは、最も輝かしい青春の時期を思う存分エンジョイし、悔いのない学生生活を送っていただくことを願います。

年々歳々

四年前、日本が冷夏であつた年を猛暑のフランスで過ごした。気候ばかりでなく、異なるところが多々あつた。まず驚いたのが、テレビの時報が番組によって十数秒も異なつていたことである。電車で予約した席のある3号車が、2号車の次は4号車だつたことに驚いた。どちらも日本では滅多に起こらない珍事だろう。▼ただ、これらのことが一概に悪いこととは思えない。逆に言えば、日本が忙しく落ち着かないのかも知れない。フランスのレストランでは、給仕係がテーブルに来るまで客は待つのが普通である。手を挙げ、大きな声で給仕係を呼ぶようなことはしない。店で働く人に対する気遣いを感じ、また、パンク姿の若者が次の人のためにドアを開いたままに支えている光景を何度も見た。満員電車が降りるときに、声もかけずに押すだけの現在の日本の状況とは大違いだ。まるで周りに居るのは人ではなく、物であるかのような扱いである。▼昨今は、人の意見も聞かず自分の信念を押し通すことが賞賛されることも多いが、それには傲慢さと狭量を感じる。▼異なる文化に触れるのは、新しいことを吸収できるだけでなく、自分の属する文化の良い点、悪い点、不足している点を認識する良い機会である。また、異質なものを考え方に対する寛容さの必要を感じるときでもある。(Y・I)



平成19年度 入学式



新入生の皆さんに

学長 谷内 伸

「体験」を通して成長を

科を卒業したばかりの二十して発展したのです。皆さんは、半ば以上の物理学の経験をもつて学生生活を送っていただくと思います。物理学の経験をもつて学生生活を送っていただくと思います。物理学の経験をもつて学生生活を送っていただくと思います。

山口東京理科大学長に塚本恒世氏
学校法人東京理科大学は、理事長を委嘱しました。土年間です。平成十九年二月一日付で、谷内雄・前学長が、昨年十月三十一日付で辞任したことに伴うもので、任期は四九頁に掲載。

本学の教育研究理念 未来を見据え新たに確立

明治十四年の創立以来「に於いて、多くの技術者」で、各界各分野に多様な人、東京理科大学は社会の負託 研究者、教育者を始めとし「材を輩出してきました。」五周年を迎えたのを機に、

創立当時の建学の理念である「理の普及」の今、日の意味を自らに問い、これからの百年を見据えた新たな教育研究の理念を確立することとしました。学生の皆さん、教職員を

平成19年度 東京理科大学 授業予定

	大学院		学 部		等
	理・薬・工・理工・基礎工・経営・生命科学各研究科	理・薬・工・理工・基礎工・経営・生命科学各研究科	理・薬・工・理工・基礎工・経営・生命科学各研究科	理・薬・工・理工・基礎工・経営・生命科学各研究科	
入 学 式	4月9日(月)		4月10日(火)		4月10日(火)
新入生指導日	4月10日(火)		4月10日(火)～12日(木)		4月10日(火)～12日(木)
課 外 活 動	4月11日(水)		4月13日(金)		4月13日(金)
ガイダンス	4月12日(木)		4月14日(土)		4月14日(土)
前期授業開始	6月14日(木)		6月14日(木)		6月14日(木)
授 業 調 整 日	7月17日(火)		7月17日(火)		7月17日(火)
前 期 試 験	7月25日(水)～8月7日(火)		7月30日(月)～8月4日(土)		7月30日(月)～8月4日(土)
夏 休 み	8月8日(水)～9月13日(木)		8月5日(日)～9月19日(水)		8月5日(日)～9月19日(水)
前期予備期間	9月14日(金)～9月19日(水)		—		—
後期授業開始	9月20日(木)		9月21日(金)		9月21日(金)
授 業 調 整 日	9月20日(木)		10月6日(土)		10月6日(土)
冬 休 み	12月26日(水)～1月9日(木)		12月23日(日)～1月11日(金)		12月23日(日)～1月11日(金)
授 業 再 開	1月10日(木)		1月12日(土)		1月12日(土)
授 業 調 整 日	1月10日(木)		1月15日(火)		1月15日(火)
後 期 試 験	1月21日(月)～2月1日(金)		1月23日(水)～2月1日(金)		1月23日(水)～2月1日(金)
退 寮 式	—		2月2日(土)		2月2日(土)
学位記・修了証書授与式	3月19日(水)		—		—
授 業 週 数	35週		—		—

※各学部・研究科の事情により上記日程を変更する場合があります。○前期授業開始日以降、学部・研究科の事情によりカリキュラムガイダンス等を行うことがある。○休日期間中は後期試験終了後に補講・実験等を行うことがある。○休日期間中の日程は各学部等で定める。○5月4日(金)は大学創立記念日/1月18日(金)は大学入試センター試験準備日のため、また1月19日(土)は大学入試センター試験のため授業は行わない。いずれも長万部地区を除く。○専門職大学院総合科学技術経営研究科は除く。

授業調整日について

◆金学
●6月14日(本) 学園記念日が授業実施
●7月17日(火) 前期・月曜日の授業実施

長万部地区を除く金学

●9月20日(本) 後期・月曜日の授業実施
●12月25日(木) 後期・月曜日の授業実施
●1月10日(木) 後期・月曜日の授業実施
●1月15日(土) 後期・月曜日の授業実施

◀ 若芽の萌えるサクラ並木の下を式場へ向かう新入生たち ▼



膨らむ夢…第一歩

平成19年度 入学式



お祝いと激励の言葉を述べる竹内学長



おごそかに、そして晴れやかに…式場を埋めた新入生



決意新たに第一歩：緊張した面持ちの新入生たち



本学管弦楽団と混声合唱団の演奏で初めての校歌斉唱



この日は忘れない…喜びの家族に祝福されて式場前ではあちこちで記念撮影のカメラの砲列

授業改善のためのアンケートを実施します…ご協力ください

ファカルティ・デイベロップメント活動の一環

四月初めのガイダンス等ですでにお知らせしたとおり、本学では学生の皆さんに「授業改善のためのアンケート」を実施します。これは、本学におけるF

D(ファカルティ・デイベロップメント)活動の一つです。FD活動とは、教員の「授業改善のためのアンケート」は、皆さんの意見を授業の改善に反映させようとするものです。

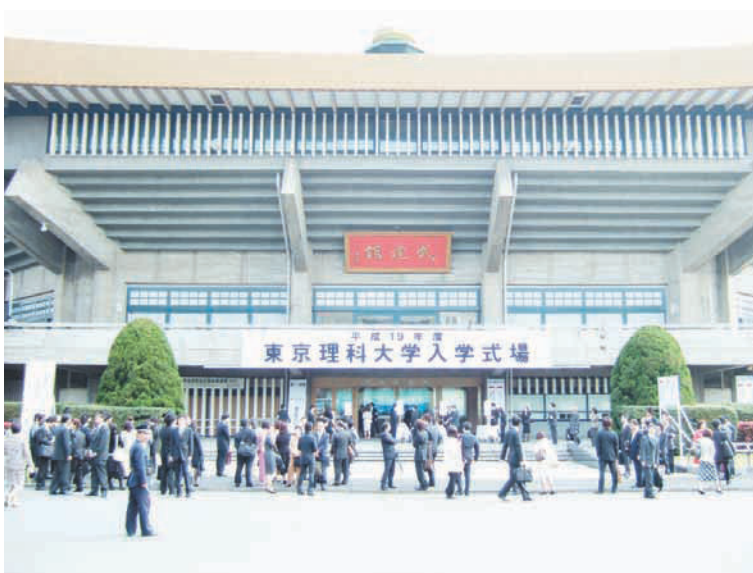
教員は全力で授業を行うつもりです。しかし、それが十分に満足させていないでしょうか。その上、皆さんの声を授業改善に直接結びつけるために、アンケートは行われま

す。
全学に公表し生かす
皆さんがアンケートに回答すると、その翌々週にはその授業の担当教員が皆さんの回答や意見に対して直接考えを述べます。皆さんが自由に書かれた意見を除いて、アンケートの結果と教員の意見は全学に公開されます。それを見ることは、今後履修を考えてい

る科目や教員の考えを知る上でも、大いに参考になるでしょう。
皆さんと教員が対話すること、より良い授業を実現しようというアンケートの趣旨をご理解いただき、皆さんのご協力をお願いいたします。
アンケートの実施時期等の詳細については、掲示等でお知らせします。



いざ旅立ち：式を終えて長万部へ向かうため空港行きのバスに乗りこむ基礎工学部の新入生と、見送る父母や家族たち



入学式場の東京千代田区の日本武道館正面玄関



校名・入学式日付入りまんじゅうや理大ストラップ&ネックピースなど記念売り出し



入学式に花を添えた舞踏研究部の華麗な演技と気迫のこもった空手道部の演武

2先生に名誉教授称号

東京理科大学は、永年にもわたり本学の教育・研究の発展に尽力され、多くの功績を挙げられた二人の先生に名誉教授の称号を授与した。

（敬称略）

△平成19年1月18日付

杉崎 善治郎 79歳
元理工学部教授 評議員、学生部副部長、図書館野田分館長、特別教室館長、理工学部応用生物科

田中 雅康 先生
先生のご専門は醗酵学で、中でも日本発用系バイオ研究の主流「代謝制御醗酵」の先駆者として活躍、醗酵理論と応用の両面で新機軸を拓かれた。

田中 雅康 72歳
元理工学部教授 元諏訪東京理科大学経営情報学部教授 経営情報学部教授 田中先生は、昭和四十二年四月から東京理科大学に在職され、その間、理工学部経営工学系主任、同僚幹事、理工学研究科幹事を務められた。また、平成十四年四月からは諏訪東京理科大学経営情報学部長として諏訪理大の発展に貢献された。

先生のご専門は原価管理、管理会計、価値工学といった企業経営の管理手法に関するもので、特に製品開発におけるコストエンジニアリングに関する研究に従事された。



杉崎善治郎先生



田中雅康先生

新任教員 37氏紹介

(敬称略)

【理学部第一部】
①最終学歴 ②前歴
③専門分野 ④学位

【理学部第一部】
教授 丸田 忠雄



(まると・ただお)
①東北大学大学院文学研究科博士課程前期修了②山形大学大学院教授③英語学、言語学④博士(文学)

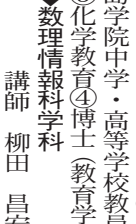


(すずき・かつひこ)
①東京都立大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程修了②国立津田工業高等学校教養科助教授③素粒子、ハドロン、原子核理論④博士(理学)

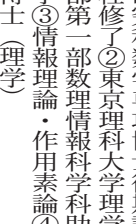
准教授 井上 正之
(いのうえ・まさゆき)
①東京理科大学大学院理学研究科物理学専攻博士後期課程修了②諏訪東京理科大学



①広島大学大学院教育学研究科博士後期課程修了②広島学院中学・高等学校教員③化学教育④博士(教育学)

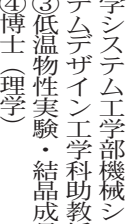


(やなぎた・まさひろ)
①東京理科大学大学院理学研究科数学専攻博士後期課程修了②東京理科大学理学部第一部数理情報科学科助手③情報理論・作用素論④博士(理学)



准教授 宮川 宣明
(みやかわ・のぶあき)
①東京理科大学大学院理学研究科物理学専攻博士後期課程修了②諏訪東京理科大学

①東京理科大学大学院理学研究科物理学専攻博士後期課程修了②諏訪東京理科大学



①慶應義塾大学大学院理工学研究科電気工学専攻後期博士課程修了②東京農工大学大学院共生科学技術研究センター生体工学研究拠点助手③パワーエレクトロニクス④博士(工学)



(くにとに・けんじ)
①東京理科大学大学院理学研究科数学専攻博士後期課程修了②東京理科大学理学部第一部数学科助手③クラフ理論④博士(理学)



(わだち・みきこ)
①米国ニューヨーク州立大学大学院物理学専攻博士課程修了②東京理科大学理学部物理学系研究科教授③非線形波動、厳密に解ける模型、低次元量子多体問題④Ph.D.

【工学部第一部】



教授 宇野 求
(うの・もとむ)



(くりはら・たかし)
①東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了②東北大学工学部建築学助教授③建築構造、耐震工学、鉄骨構造④工学博士



(こんどう・ゆきひろ)
①東京理科大学理工学系研究科工業化学専攻博士後期課程中途退学②東京理科大学工学部第一部工業化学科助手③物理化学、コロイド・界面化学④博士(工学)

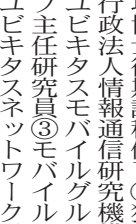
①東京理科大学理工学系研究科工業化学専攻博士後期課程中途退学②東京理科大学工学部第一部工業化学科助手③物理化学、コロイド・界面化学④博士(工学)



(こいずみ・ひろふみ)
①慶應義塾大学大学院理工学研究科電気工学専攻後期博士課程修了②東京農工大学大学院共生科学技術研究センター生体工学研究拠点助手③パワーエレクトロニクス④博士(工学)



(はせがわ・みきお)
①東京理科大学大学院基礎工学研究科電子応用工学専攻博士後期課程修了②独立行政法人情報通信研究機構ユビキタスモバイルグループ主任研究員③モバイル・ユビキタスネットワーク、カオス・非線形ダイナミクス④博士(工学)



(さasaki・しんや)
①東京工業大学総合理工学

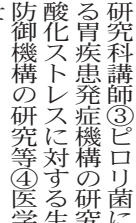
①東京工業大学総合理工学



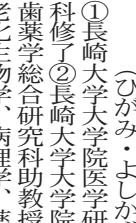
(ふじさわ・まさや)
①電気通信大学大学院電気通信学研究科情報工学専攻博士後期課程修了②東京理科大学工学部第二部経営工学科助手③符号理論、情報セキュリティ④博士(工学)



(たなか・しげのり)
①筑波大学大学院理工学系研究科物理工学専攻博士課程修了②京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻助手③物性実験④博士(理学)



(なかも・あきおり)
①筑波大学大学院理工学系研究科物理工学専攻博士課程修了②京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻助手③物性実験④博士(理学)



(はぎわら・けんじ)
①東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻博士後期課程修了②株式会社NTTドコモ無線アクセス開発部主査③デジタル変復調、無線通信システム④工学博士

①東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻博士後期課程修了②株式会社NTTドコモ無線アクセス開発部主査③デジタル変復調、無線通信システム④工学博士



(はちもり・よしただ)
①東京大学大学院数理学系研究科博士課程修了②慶應義塾大学理工学部数理科学専攻専任講師(有期)③整数論④博士(数理学)



(あらい・ひろし)
①東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了②京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻助手③物性実験④博士(理学)

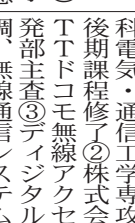


(ありあま・こうじ)
①東京工業大学大学院総合理工学専攻博士後期課程修了②東京理科大学理学部工業化学科助手③光機能化学、有機材料化学、高分子化学④博士(工学)

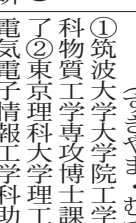


(きむら・しんいち)
①東京理科大学理学部物理学専攻博士後期課程修了②独立行政法人情報通信研究機構宇宙通信ネットワークグループ主任研究員③自律制御工学、宇宙システム

①東京理科大学理学部物理学専攻博士後期課程修了②独立行政法人情報通信研究機構宇宙通信ネットワークグループ主任研究員③自律制御工学、宇宙システム



(はぎわら・けんじ)
①東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻博士後期課程修了②株式会社NTTドコモ無線アクセス開発部主査③デジタル変復調、無線通信システム④工学博士



(すぎやま・むつみ)
①筑波大学大学院工学研究科物質工学専攻博士課程修了②東京理科大学理学部電気電子情報工学科助手③太陽電池・半導体光デバイス④博士(工学)



(いしがき・あや)
①東京理科大学理工学系研究科物理学専攻博士後期課程修了②東京理科大学理学部経営工学科助手③生産システム工学④博士(理学)



(さえき・まさゆき)
①東京理科大学工学系研究科社会基盤工学専攻博士課程修了②東京理科大学理学部土木工学科助手③地震工学④博士(工学)

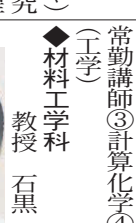
①東京理科大学工学系研究科社会基盤工学専攻博士課程修了②東京理科大学理学部土木工学科助手③地震工学④博士(工学)



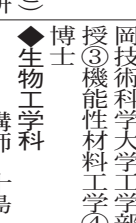
(おおいし・かつや)
①大阪大学大学院理学研究科物理学専攻博士後期課程修了②電気通信大学工学部非常勤講師③宇宙物理学、観測的宇宙論④博士(理学)



(たけむら・さなえ)
①東京理科大学大学院理工学系研究科工業化学専攻博士課程修了②東京理科大学基礎工学部教養(長万部)非常勤講師③計算化学④博士(工学)

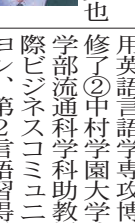


(いしぐろ・たかし)
①東京工業大学大学院理工学系研究科博士課程修了②長岡技術科学大学工学部助教授③機能性材料工学④工学博士



(しむず・じゅんじ)
①九州大学大学院理学系研究科生物学専攻博士後期課程修了②東北大学大学院生命科学研究所COE研究員③細胞生物学④博士(理学)

①九州大学大学院理学系研究科生物学専攻博士後期課程修了②東北大学大学院生命科学研究所COE研究員③細胞生物学④博士(理学)



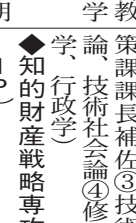
(なかがわ・あんり)
①英国バーミンガム大学応用英語言語学専攻博士課程修了②中村学園大学流通科学部流通科学科助教授③国際ビジネスコミュニケーション、第2言語習得、比較文化④Ph.D. in Applied English Linguistics



(つるしま・かつひこ)
①早稲田大学理工学部電気通信学専攻博士課程修了②ソニー株式会社コーポレート・エグゼクティブEVP③データ記録・半導体システム、量子情報システム、音響工学④工学博士



(みやざき・ひろふみ)
①ハーバード大学大学院行政学専攻修了②経済産業省商務情報政策局サービス政策課課長補佐③技術政策、技術社会論④修士(理学、行政学)



(ひらた・みつよし)
①米国フランクリン・ピアース・ロー・センター(FPLC) 知的財産専攻修士課程修了②東京理科大学

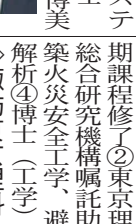
①米国フランクリン・ピアース・ロー・センター(FPLC) 知的財産専攻修士課程修了②東京理科大学



(のじま・まさし)
①東京理科大学理工学系研究科応用化学専攻博士課程修了②東京理科大学総合研究機構嘱託助手③半導体ナノデバイス故障解析技術の開発、絶対スケール深さ方向分析法の実用化④博士(工学)



(みずの・まさゆき)
①東京理科大学大学院理工学系研究科建築学専攻博士後期課程修了②東京理科大学総合研究機構嘱託助手③建築火災安全工学、避難行動解析④博士(工学)



(たけまつ・てるい)
①九州大学大学院工学研究科生産機械工学専攻博士課程修了②九州大学大学院工学研究科助教授③生産工学、材料加工学、塑性加工学④博士(工学)



(たけまつ・てるい)
①九州大学大学院工学研究科生産機械工学専攻博士課程修了②九州大学大学院工学研究科助教授③生産工学、材料加工学、塑性加工学④博士(工学)

①九州大学大学院工学研究科生産機械工学専攻博士課程修了②九州大学大学院工学研究科助教授③生産工学、材料加工学、塑性加工学④博士(工学)

平成19年度予算編成

学校法人東京理科大学理事会

本学は「Conscience」二十一世紀の科学は良心「向かう」の実現に向け、社会への情報発信基地としての都心型キャンパスの再構築事業を引き続き進めています。平成十九年度予算は、さらなる教育・研究の質的向上と将来への礎となる環境整備の充実を図るため、健全経営の理念に基づき編成を行いました。

重点項目として次のことを盛り込むこととしました。

一、神楽坂地区再構築計画

①新二号館建築に係わる建築費等
②大学会館建築費
③二、三、七、八、九号館解体費用
④仮移転用教室に係わる賃借料等
⑤二、野田地区再構築計画

①校舎耐震改修工事費等
②研究室改修工事費等
三、長万部地区再構築計画

①女子学生寮新設工事費
②教室棟新設工事費
③女子学生寮新設に係わる機器備品費
四、研究開発プロジェクト

①キラルマテリアル研究センター(新規)
②DDS研究センター(継続)
③ゲノム創薬研究センター(継続)
④ボリスケールテクノロジー研究センター(継続)
⑤グリーン光科学技術研究センター(継続)
⑥再生工学研究センター(継続)
⑦量子生命情報センター(継続)

⑧ナノ粒子健康科学研究センター(継続)
⑨先端材料研究センター(継続)
⑩人間支援工学研究センター(継続)
⑪ホリスティック計算科学研究センター(継続)

五、右記「四」を文部科学省が行う「学術研究高度化推進事業」の対象経費とすることとし、研究設備整備費等補助金および経常費補助金(特別補助)を予算措置すること。

六、創立百二十五周年記念事業に充当するため総額五十億円を目標に募集している寄付金のうち、平成十九年度目標額を予算措置すること。

なお、資金収支予算書における前年度繰越支払資金および消費収支予算書における前年度繰越消費支出超過額は、平成十八年度決算確定前の予算額に基づいています。

平成19年度 資金収支予算

[平成19年4月1日から平成20年3月31日まで] (単位:千円)

収 入 の 部			
科 目	19年度予算額	科 目	19年度予算額
学生生徒等納付金収入	25,601,636	第3号基本金運用収入	15,000
授業料収入	16,584,850	受取利息・配当金収入	400,000
入学金収入	2,714,960	施設設備利用料収入	62,427
実験実習料収入	1,542,106	事業収入	1,181,646
施設設備資金収入	4,759,720	受託事業収入	1,036,781
手数料収入	1,469,275	知的財産権実施料等収入	25,120
入学検定料収入	1,423,275	公開講座受講料収入	119,745
試験料収入	9,000	雑収入	945,475
証明手数料収入	16,000	入学要項売上収入	12,000
大学入試センター試験実施手数料収入	21,000	私立大学退職金財団交付金収入	776,264
寄付金収入	696,000	その他の雑収入	157,211
特別寄付金収入	500,000	前受金収入	16,673,015
一般寄付金収入	196,000	授業料前受金収入	9,008,536
補助金収入	3,893,278	入学金前受金収入	2,685,941
国庫補助金収入	3,881,323	実験実習料前受金収入	512,867
地方公共団体補助金収入	6,955	施設設備資金前受金収入	4,424,812
学術研究振興資金収入	5,000	その他の前受金収入	40,859
資産運用収入	477,427	その他の収入	4,384,967
収入の部合計		69,254,783	

支 出 の 部			
科 目	19年度予算額	科 目	19年度予算額
人件費支出	16,045,679	消耗品費支出	57,994
教員人件費支出	10,335,826	光熱水費支出	114,936
職員人件費支出	4,790,297	旅費交通費支出	75,046
役員報酬支出	98,148	福利厚生費支出	44,664
退職金支出	821,408	通信運搬費支出	48,787
教育研究経費支出	9,444,978	印刷費支出	202,014
消耗品費支出	1,958,563	保険料支出	17,567
光熱水費支出	1,080,705	広告費支出	229,695
旅費交通費支出	494,890	渉外・会議費支出	33,138
奨学費支出	163,701	賃借料支出	149,264
福利厚生費支出	88,176	修繕費支出	70,950
通信運搬費支出	221,761	諸会費支出	14,450
印刷費支出	313,148	公租公課支出	56,039
広告費支出	13,568	報酬・委託・手数料支出	610,132
会議費支出	11,436	保守料支出	118,707
賃借料支出	950,831	資料費支出	82,897
修繕費支出	473,003	雑費支出	52,033
諸会費支出	90,514	借入金等利息支出	111,115
公租公課支出	279	借入金利息支出	111,115
報酬・委託・手数料支出	1,533,434	借入金等返済支出	1,483,160
保守料支出	446,172	借入金返済支出	1,483,160
資料費支出	729,429	施設関係支出	5,210,582
雑費支出	875,368	建物支出	2,442,282
管理経費支出	1,978,313	構築物支出	147,300
支出の部合計		69,254,783	

平成19年度 消費収支予算

[平成19年4月1日から平成20年3月31日まで] (単位:千円)

消 費 収 入 の 部			
科 目	19年度予算額	科 目	19年度予算額
学生生徒等納付金	25,601,636	一般寄付金	196,000
授業料	16,584,850	現物寄付金	210,000
入学金	2,714,960	補助金	3,893,278
実験実習料	1,542,106	国庫補助金	3,881,323
施設設備資金	4,759,720	地方公共団体補助金	6,955
手数料	1,469,275	学術研究振興資金	5,000
入学検定料	1,423,275	資産運用収入	477,427
試験料	9,000	第3号基本金運用収入	15,000
証明手数料	16,000	受取利息・配当金	400,000
大学入試センター試験実施手数料	21,000	施設設備利用料	62,427
寄付金	906,000	事業収入	1,181,646
特別寄付金	500,000	受託事業収入	1,036,781
消費収入の部合計		32,140,317	

消 費 支 出 の 部			
科 目	19年度予算額	科 目	19年度予算額
人件費	15,866,697	諸会費	90,514
教員人件費	10,335,826	公租公課	279
職員人件費	4,790,297	報酬・委託・手数料	1,533,434
役員報酬	98,148	保守料	446,172
退職金	610,972	資料費	729,429
退職給与引当金繰入額	31,454	雑費	875,368
教育研究経費	14,118,134	減価償却額	4,673,156
消耗品費	1,958,563	減価償却費	2,087,760
光熱水費	1,080,705	消耗品費	57,994
旅費交通費	494,890	光熱水費	114,936
奨学費	163,701	旅費交通費	75,046
福利厚生費	88,176	福利厚生費	44,664
通信運搬費	221,761	通信運搬費	48,787
印刷費	313,148	印刷費	202,014
広告費	13,568	保険料	17,567
会議費	11,436	広告費	229,695
賃借料	950,831	渉外・会議費	33,138
修繕費	473,003	賃借料	149,264
消費支出の部合計		33,646,842	
当年度消費支出超過額		1,506,525	
前年度繰越消費支出超過額		10,812,707	
翌年度繰越消費支出超過額		12,319,232	

新任職員 12氏



前列左から千田さん、赤津さん、久保さん、杉田さん、山本さん、菅原局長、後列左から塚さん、藤井さん、松本さん、中里さん、鈴木さん、江口さん

四月一日付で職員十二人が新採用となりました。

(敬称略)

◇大学局長 菅原秀章
◇神楽坂校舎◆経理課・藤井清伸◆理学事務課・松本淳一◆工学事務課・久保彩美、塚一郎◆広報課・杉田分室・江口泉

田有未◆事務システム課・山本弥生
◇野田校舎◆薬学事務課・鈴木達彦◆理工学事務課・赤津ひろ、中里光雄
◆基礎工学事務課・千田早耶香◆保健管理センター・野田分室・江口泉

本学法人は37億7000万円

平成18年度私学助成

総額で37億円増(前年比)

日本私立学校振興・共済事業団は平成十八年度の私立大学・短大・高専に対する補助金交付状況を発表しました。

東京理科大学では、三十四億千三百万円、山口理科大学は一億七千九百万円、諏訪東京理科大学は一億七千六百万円で学校法人全体では三十七億七千万円となりました。

全国の私立学校に対する補助金総額は、前年度より約三十七億円増(一・二%)の三千二百七十六億円であ

平成18年度私大補助金 上位20校

()内の数字は前年度順位/単位億円

(1)	日本大	124.7
(2)	早稲田大	89.5
(3)	慶應義塾大	88.0
(4)	東海大	64.2
(5)	立命館大	52.5
(6)	近畿大	51.2
(10)	明治大	40.9
(8)	北里大	40.4
(11)	順天堂大	39.9
(7)	昭和大大	38.5
(9)	中央大	37.5
(12)	同志社大	35.4
i (16)	東京理科大	34.1
ç (19)	福岡大学	33.7
£ (13)	東京女子医科大	33.1
/ (15)	関西大	32.3
¥ (14)	東京慈恵医科大	31.4
f (17)	久留米大	29.8
\$ (24)	関西学院大	28.9
□ (18)	法政大学	28.1

51氏が定年を迎え

長年にわたる本学の教授▽工化・好野則夫教授▽育・研究・事務に尽力され、た五十一氏が三月三十一日付けで定年を迎えられた。

(敬称略)

【理1】教養・相島倫嘉教授▽化学・日下部慧教授▽応物・塚本恒世教授▽応化・植木正彬教授

【理2】物理・宮崎忠教授▽山田武範教授▽化学・橋孝二教授

【工1】建築・松崎育弘教授▽工化・好野則夫教授▽電気・宗村哲雄教授▽機械・原文雄教授

【工2】建築・寺本隆幸教授▽薬学・宇留野強教授▽鈴木政雄助教授(選択定年)▽山口裕子講師

【理1】教養・児島紘教授▽数学・小谷孝一講師▽物理・小口明秀教授▽電情・池田紘一教授▽中山昌春教授▽経工・溝口文雄教授▽【事務総局】幡野純・事務

【基礎工】教養・恩田邦藏教授▽Huddleston講師▽電子・渡辺恒夫教授▽【経営】鈴木寛次教授▽廣田正義教授

【MOT】佐藤元教授▽菅原進一教授

【TLO等】瀬尾巖・科学技術交流センター長▽田丸理・小口明秀教授▽電情・威・知的財産本部知財マネージャー

【事務総局】幡野純・事務

【基礎工】教養・恩田邦藏教授▽Huddleston講師▽電子・渡辺恒夫教授▽【経営】鈴木寛次教授▽廣田正義教授

【MOT】佐藤元教授▽菅原進一教授

【TLO等】瀬尾巖・科学技術交流センター長▽田丸理・小口明秀教授▽電情・威・知的財産本部知財マネージャー

【事務総局】幡野純・事務

悼

去されました。七十六歳。遠藤 輝子助教授(旧姓・中村)

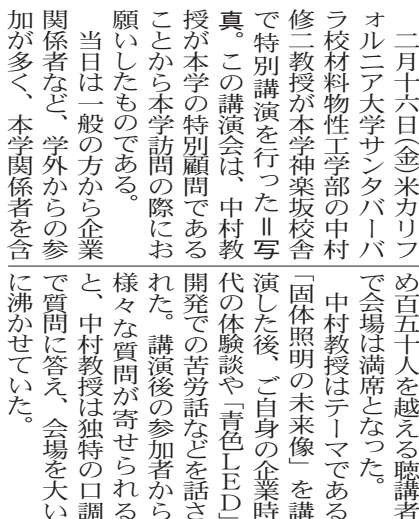
(薬学部薬学科) 平成十九年一月二十五日逝去されました。五十七歳。

故遠藤輝子助教授のご遺志により 鎌倉秀雄画伯の絵を薬学部へ寄贈

本年一月二十五日に逝去された薬学部薬学科の故・遠藤輝子助教授(旧姓・中村)のご遺志により、鎌倉秀雄画伯の絵画「夕照」を薬学部へ寄贈されました。遠藤先生は生前「本物」を学生の目に触れさせたかったと希望され、このたび御遺族より申し出があったものである。鎌倉秀雄氏は、現代日本画壇を代表する画家で、一九三〇年東京都に生まれ、安田靉彦に師事。現在は、日本美術院理事として院展を中心に活躍されている。「夕照」のほかにも鎌倉氏からすでに「憂」「アブシ」「ベル小神殿」の二点が本学に寄贈され、薬学部校舎15号館 階ホールに展示されており、「夕照」も同校舎13号館に展示された。

本学のホームページで公開している研究者情報データベースはこちらです

産・学・官連携と知財のひろば



四月二十七日(金)にベルサール神田(東京都千代田区)でJST産学共同シリーズイノベーション事業「JST Innovation Bridge」(出合いの場)「東京理科大学研究シリーズ発表会をJSTと協賛で開催する。

この発表会は、産・学・官三者の「出合いの場」となる。まずは、JSTが企画した「出合いの場」で関連企業を対象に本学教員が自分の持つ研究シーズのプレゼンテーションを行う。

参加した企業担当者はその研究シーズを企業の立場から新しい技術を探索する。企業担当者が、ある研究シーズに興味を持つと、次は実際に事業化が可能になるか直接

教員に相談を持ちかける両者が事業化において可能と判断すると、最高八百万円の共同研究費の獲得に向

て、JSTの「産学共同シリーズイノベーション事業・顕在化ステージ」へ応募する。審査をクリアして最長一年間の顕在化ステージ終了後は、更にステップアップ(本格化事業化)するため最長四年間で最高二億円の研究開発費が提供される「イノベーション創出プラン」へ進めることになる。

当日は医療・バイオ分野十人、環境・エネルギー分野六人、電子デバイス・精密機械・ロボット分野六人、計二十二人の本学教員が参加する。

*詳細は「JSTのHP」へ
<http://www.deanoba.jp/>

量子生命情報研究センター――
野田校舎でQBI-C国際会議'07を開催



講演する大矢雅則教授

講演する竹内伸学長

子生命情報研究センター国際会議二〇〇七」を、野田キャンパスのカナル会館三階・大会議室で開催した。当日は百人を超える多数の参加者があつた。このQ B I C 国際会議とQ B I C の主たる目的は、数学、物理學、情報科学、生命科学など様々な分野を横断的に研究している研究者の協力をベースに量子情報と生命情報を融合した新たな理論の創出というパラダイムを実現することにある。	今回のQ B I C 国際会議は、量子情報、量子確率、生命情報、確率過程などの研究で国際的に活躍している研究者の中から国外の研究者約十四人、本学を含む国内の研究者約二十数人を講演者として、初日の三月十四日は数学とW N A (ホワイトノイズ解析) に関する話題、続く十五日、十六日には量子情報と量子物理学に関する話題、最終日の十七日は生命情報に関する話題の講演が行われ
た。また十六日午後にはQ B I C の初年度の報告会も兼ねたポスターセッションが行われ、本学のQ B I C プロジェクトに参加している研究室から二十件を超える発表があつた。	本国際会議では、量子生命情報の基礎の構築というパラダイムに向かって様々な分野の研究者が国内外から一堂に会し、分野を超えた横断的な議論が活発になされ、国際的に見ても類例のないものであつた。

披露されたディーゼル排ガス曝露施設

総合研究機構ナノ粒子健康
科学センターのディ
ザール排ガス曝露施設のお
健康センター長（薬学部薬学

披
験動物に曝露することによ
り、ナノ粒子が健康体へど
のように影響するのかを詳
細に調査することが可能に
なり、健康への影響の実体
を明らかにすることが期待
されている。

本学の情報を海外へ発信

本学は英国 Research SEA 社と契約して、教員は、アジア地域の大学・研究機関における研究成果情報等を、WEB を通じて世界各国のジャーナリストに発信すること、同社の主たる事業は、アジア地域の大学・研究機関における研究成果情報等を、WEB を通じて世界各国のジャーナリストに発信することである。

この数年來、本学の研究メディアに対しては、個々の研究者が専門誌などに発表する場合などに限られていたのが実情である。

海外のジャーナリストが、本学の研究成果の情報記事化して報道すること

研究機関や企業等から、共同

データベースRDBAで
本学の研究者情報を公開

東京理科大学、山口東京
タバス・RDAI」など、
理科大学と諏訪東京理科大
様々な研究分野で活躍する
学は、一月から教員の研究
業績に関する情報を示す
ムページで公開していまし
この「研究者情報テー
報をご覧ください。」

また、「登録されている情
報は、国内の教育機関・研
究機関の研究情報を提供し
ている独立行政法人科学技
術振興機構（JST）の
「研究開発支援総合ディレ
クトリー」に転送すること
をReadに転送すること
利用してみてください。

Informationの略称「理大」
京理科大学の略称「理大」
のローマ字書きでもあり、
皆さんに親しんでいただ
けようと思っております。ご
利用してみてください。

平成18年度
小玉記念科学賞に39人

平成十八年度小玉記念科学賞授与式が、三月二十日、学位記・修了証書授与式終了後に神楽坂キャンパスなどで行われ、各受賞者の名前が彫りこまれたクリスタルガラスのトロフィーが贈呈された。	小玉記念科学賞は、(財)科学技術振興会(小玉財団)が学業研究に極めて優秀な
成績を修めた者に贈る賞で、卒業生のうち各学科から推薦された者に贈られる。	本年度の受賞者は次のとおり(敬称略)。
【理一】数学・松本久明／物理・吉村真悟／化学・遠藤和洋／数情・後藤万由／応物・影井誠一郎／応化・中小田舞	製薬・藤田和希 【工一】建築・新谷昌代／工化・山際清史／電気・横山あみ／経営・高田亜実／機械・松本壮史
【理二】数学・松本久明／物理・吉村真悟／化学・遠藤和洋／数情・後藤万由／応物・影井誠一郎／応化・中小田舞	【工二】建築・佐藤多恵子／電気・松島真／経営・中村康宏
【理三】数学・合井隆人／物理・梶公智／情報・羽鳥明日佳／応生・村田紗弥	【基礎】電子・大久保隆／材料・山口道隆／生物・佐藤高士
【理四】数学・合井隆人／物理・梶公智／情報・羽鳥明日佳／応生・村田紗弥	【経営】経営・黒岡恰平
【理五】数学・合井隆人／物理・梶公智／情報・羽鳥明日佳／応生・村田紗弥	【山口理大】電情・神山祥太郎／物環・宮口幸
【理六】数学・合井隆人／物理・梶公智／情報・羽鳥明日佳／応生・村田紗弥	【諏訪理大】電子・伊藤康司／機械・渡辺友太／経営・久保寺和昭
【理七】数学・合井隆人／物理・梶公智／情報・羽鳥明日佳／応生・村田紗弥	【企業人】学校法人大東文化学園理事長・國岡昭夫

本学の教育研究理念の本文は以下のとおり。

部、経営学部が次々に設置され、今日では八学部三十三学科、八研究科二十七専攻を擁する本邦私学随一の

自然・人

発展の

理工系総合大学に発展した。

本学がこの目覚しい発展をとげた一世紀余の間に社会情勢、世界情勢は大きく変化した。二十世紀には極めて急速に自然科学、生命

理工系総合大学に発展し「戦争の世紀」とも呼ばれた。

科学に関する理解が進むとともに、科学技術の急速な進歩により先進国では高度技術社会が実現し、さまざまな面で人々の生活は大きく改善され便利になった。しかし、一方で二十世紀は

題に加え、ヒトゲノム解読によって生じた生命倫理に對する取り組み、経済効率優先の社会のもとの技術者倫理の問題など、科学技術の発展とともに新たに決すべき問題が浮上してき

間・社会とこれらの調和的

ための科学と技術の創造

「戦争の世紀」とも呼ばれるように、核兵器に代表される高性能兵器が開発され、悲惨な結果がもたらされた。また、資源の大量消費がもたらす環境破壊、エネルギー・資源枯渇などの問題に加え、ヒトゲノム解読によって生じた生命倫理に對する取り組み、経済効率優先の社会のもとの技術者倫理の問題など、科学技術の発展とともに新たに決すべき問題が浮上してき

しているといえる。

以上のことに鑑み、教育研究理念として「自然・人間・社会とこれらの調和的発展のための科学と技術の創造」を掲げる。すなわち、理学と工学の両分野をもつ

理工系総合大学として、本学は、自然および生命現象の本質と原理を解明し人類の睿智の増進をめざす「理学の知」と、さまざまな物・技術・システムを構築して人類の活動の充実と高度化に貢献する「工学の知」を協働させ「自然と人間の調和的かつ永続的な繁栄への貢献」をめざす教育と研究を行う。	り、正しい倫理観と豊かな人間性を備え、国際的視野を持った科学者・技術者および本学が伝統としてその実績を誇る理数教育者を養成する。
この理念に基づき、学部にあつては、実力主義の伝統を堅持しつつ、幅広い視野を涵養する教養教育と理工系総合大学として理学・薬学・工学分野の基礎教育および最先端の専門教育を行う。このことによ	大学院においては、学問の自由を基礎に、理学、薬学、工学の高度な理論および応用を教授・研究し、それぞれの分野で卓抜した研究拠点を形成する。同時に、確かな基礎知識に裏付けられた広い視野と柔軟な思考力に加えて、正しい倫理観と豊かな人間性および国際的視野を備え、独創性に富み開拓者精神旺盛な人材を育成する。

四月は出発の季節です。新入生は慣れない大学のシに戸惑いながらスタートさせ学院の一年生慣れた環境と研究・勉学のスタートです。再スタートのます。昨年の

です。

テムと環境
 学生生活を
 ばかり、大
 卒研生も、
 いえ新たな
 と仲間との
 四月はまた
 節でもあり
 学生生活が不
 り切った分、プレッシャー
 を感じ始めている「など気が
 落ち込む人がいます
 そのままGWを迎えると、
 頑張つてやってきただけ気が
 緩んで、休み明けから大
 学に通うのが辛くなり休み
 がちになってしまう」「五月
 病」という言葉があります
 一人で考え込んで何とかな
 しようとするのは余り効果
 がありません。人と話すこ
 とでモヤモヤした気持ちの
 整理ができ、解決の糸口が見えてくることもあるので
 す。

(保健管理センター)

本学から11人採用内定

日本学術振興会特別研究員が発表された、本学から十一人の学生が採用内定した。

振興会 特別研究員
から11人採用内定
特別研究員制度は、全国
トップクラスの優れた若手
研究者に対して研究奨励金
を支給する制度で、四月の
◇区分：DC2
【採用内定者】

本学への高い評価

となつてゐる。これは本学「義」を貫いてきたことが企に繋がつてゐるものであ
世代の大量退職などにより
の教育理念である「実力主業」に高く評価され、信頼感。教員採用状況は、団塊需要が増加傾向にあり、公

立・私立学校教員として九十一人が内定している。なお、十一人が内定している。また公務員関係では国家、地方公務員として八十九人が進学している。

就職課・相談室の積極的活用を

就職課では低学年からのキャリア支援として、キャリアプランニングセミナー、公務員・教員ガイダンス、試験対策試など様々な

学 生 が リア支援プログラムを行っ
 ている。学生の皆さんは、
 積極的に参加願いたい。
 また、就職活動における
 悩みの相談、キャリアに
 関する進路相談やエントリ
 ーシート・履歴書の添削な
 ども行っているので、就職
 課・就職相談室の大いなる
 活用を歓迎しています。

日本学術振興会特別研究員が発表された、本学から十一人の学生が採用内定した。

振興会 特別研究員
から11人採用内定
特別研究員制度は、全国
トップクラスの優れた若手
研究者に対して研究奨励金
を支給する制度で、四月の
◇区分：DC2
【採用内定者】

平成十八年度の就職状況は、景気回復に伴う業績の拡大、本格化する団塊世代の大量退職や人口減少問題の対応などを背景にして、企業の採用意欲は「バブル期」並みの感がある。

こうした状況下、本学に對する求人数は五千三百五十四件に達し、対前年比二・三%増と大幅に増加した。業種別には建設、非鉄・金属製品、電機、機械、自動車等の製造業が増加している。また非製造業では情報産業、金融・保険・証券等が増加している。都道府県別では首都圏中京圏、近畿圏を中心に総じて増加している。

次に、本学の就職内定率は九六・六（三月十五日現在）

＜(株)は省略＞

業種	企業名・省庁名等	内定者数	輸送用機械器具	富士重工業 ヤマハ発動機	6
建設	大和ハウス工業	12	その他製造業	川崎重工業	4
	竹中工務店	10		いすゞ自動車	3
	清水建設	9		ボッシュ	3
	大成建設	9		日野自動車	3
	積水ハウス	6		大日本印刷	12
	大林組	5		凸版印刷	11
	鹿島建設	5		岡村製作所	4
	パナホーム	4		朋和産業	4
	長谷工コーポレーション	3		大塚商会	5
	旭化成ホームズ	3		YKKAP	5
施設	高砂熱学工業	3	商業	キャノンマーケティングジャパン	5
	三井住友建設	3		クラフト	4
	三機工業	3		興和	4
	大東建託	3		東京エレクトロン	4
	大明	3		ロック・ワールド	3
	キリンビール	3		総合メディカル	3
	日本たばこ産業	3		三井住友銀行	10
	味の素	3		三菱東京UFJ銀行	10
	ブリヂストン	6		みずほフィナンシャルグループ	4
	東レ	5		八十二銀行	4
食料品	TOTO	4	金融・保険・証券	日興コーディアル証券	4
	出光興産	3		日本生命保険(相)	4
	日本ゼオン	7		野村證券	4
	日産化学工業	6		りそなホールディングス	3
	旭化成	5		損害保険ジャパン	3
	昭和電工	5		大和証券グループ本社	3
	東洋インキ製造	5		みずほインベスターズ証券	3
	ライオン	4		新光証券	3
	花王	4		不動産	5
	京セラケミカル	3		不動産	3
化学工業	三菱ガス化学	3	運輸・通信・エネルギー	野村不動産	3
	住友スリーエム	3		東日本旅客鉄道	12
	積水化学工業	3		東日本電信電話	10
	東京応化工業	3		NTTコミュニケーションズ	8
	日立化成工業	3		全日本空輸	8
	富士フイルム	3		東京電力	6
	中外製薬	12		KDDI	5
	エーザイ	8		日立物流	4
	久光製薬	6		NTTドコモ	3
	資生堂	5		日本航空	3
医薬・化粧品	アストラゼネカ	5	情報・その他サービス	ソフトバンクBB	3
	ヤンセンファーマ	5		NTTデータ	26
	小野薬品工業	5		みずほ情報総研	15
	武田薬品工業	5		野村総合研究所	14
	佐藤製薬	4		ヤフー	14
	大正製薬	4		大和総研	12
	フロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン	3		アイ・ティ・フロンティア	11
	協和発酵工業	3		日本総合研究所	10
	フジクラ	6		NECソル	10
	三菱マテリアル	4		伊藤忠テクノソリューションズ	10
機械・精密	三菱重工業	9	情報・その他サービス	NTTコムウェア	9
	石川島播磨重工業	8		CSKシステムズ	8
	テルモ	7		日立情報システムズ	8
	オリンパス	6		新日鉄ソリューションズ	8
	ファナック	5		日本ユニシス	8
	オルガノ	4		日立ソフトウェアエンジニアリング	8
	セガサミーホールディングス	4		インテック	7
	日立製作所	29		アクセンチュア	7
	ソニー	27		シミック	7
	日本電気	22		東京CRO	6
電気機械器具	キヤノン	19	放送広告	JALインフォテック	5
	リコー	17		NTTデータフロンティア	5
	富士通	15		TIS	5
	東芝	11		日本電気通信システム	5
	三菱電機	11		富士ソフト	5
	富士ゼロックス	11		富士通エフ・アイ・ピー	5
	日本ビュレット・パッカード	9		電通国際情報サービス	4
	日本アイ・ビー・エム	8		日立システムアンドサービス	4
	セイコーエプソン	7		NECエンジニアリング	4
	イビデン	6		トランスコスモス	4
機械器具	シャープ	6	国家公務員 地方公務員	ニッセイ情報テクノロジー	4
	横河電機	6		東京三菱インフォメーションテクノロジー	4
	小糸製作所	5		日本電子計算	4
	村田製作所	5		日立電子サービス	4
	カンオ計算機	4		リクルート	5
	旭化成エレクトロニクス	3		USEN	3
	アルバック	3		特許庁	4
	図研	3		経済産業省	2
	キヤノン電子	3		国土交通省	2
	ユニデン	3		東京都(都職員)	10
輸送用機械器具	沖電気工業	3	教育	千葉県(県職員)	6
	松下電工	3		警視庁	4
	東京エレクトロンAT	3		埼玉県(県職員)	4
	日本ケミコン	3		埼玉県 さいたま市職員	3
	トヨタ自動車	26		神奈川県(県職員)	10
	本田技研工業	17		東京都立学校教員	12
	日産自動車	12		千葉県立学校教員	8
	デンソー	10		茨城県立学校教員	4
	マツダ	10		神奈川県立学校教員	3
	豊田自動織機	9		群馬県立学校教員	2
スズキ	9				

特別研究員制度は、全国トップクラスの優れた若手研究者に対して研究奨励金を支給する制度で、四月の採用後、国公私立大学や大学共同利用機関、国立研究機関などで研究に従事する。 本年度の申請者数は全国で一万九百九十七人で、本学からは六十七人が申請した。昨年度全国採用率が一三・三％だったことから、本学の採択率がいかに高い水準かが伺える。 日本学術振興会は、学術研究の助成、研究者の養成のための資金の支給等を行うことにより、学術の振興を図ることを目的として設立された独立行政法人である。同振興会は、特別研究員制度のほか、科学研究費補助金による研究助成も行っている。	【採用内定者】 ◇区分：DC2 （博士課程2・3年次） 岩澤 英明（理研） 鈴木健一郎（理工研） 塩見 徹（理工研） 五東 弘昭（工研） 中尾 一久（基工研） 福田 隆一（基工研） ◇区分：DC1 （博士課程1年次） 早藤 麻美（理研） 鈴木 健太（理研） 佐々木洋子（理工研） 影沢 達夫（基工研） 鈴木 恭子（経営研→東大） ※（ ）内は平成18年度の所属 所屬 ◇日本学術振興会HP http://www.jspso.go.jp/index.html
--	---

だより

2氏に「坊っちゃん賞」

▽馬場錬成
氏（本学専門
職大学院教授、元読売新聞
論説委員）
理窓会「坊っちゃん賞
は、東京理科大学、山口東

は、大学・企業の研究者と
して、あるいは大学・高
校・中学等の教員として研
究教育に従事しているほ
に「坊っちゃん賞」に
贈られます。
夏目漱石の名著『坊っちゃん』で、主人公の「坊っちゃん」は東京理科大学の
より母校の名
誉を高めた方

＊理窓会：本学卒業生が自
 動的に加入する同窓会。
 ＊理窓会ＨＰアドレス：
<http://risoukai.rikadai.jp/index.html>

得された同窓生と本学教員を招いて、毎年、記念講演会・祝賀会を開催しています。学生の皆さんをはじめ、どなたでも奮ってご参加ください。

◆対象：学生および一般
（直接受付にお出で下さい）
◆内容▽新学位取得者による研究発表会▽記念講演会

（会費制）を大会議室で行います。

* 詳細は理窓博士会HP (<http://www.rs.suwa-tus.ac.jp/risoudr/>) 確認ください。

小林	光義様	坂田	寛明
笹本	篤様	佐藤	造
澤田	敏様	塩川	良治
篠田	竜也様	柴戸	修
清水	幹雄様	関	雅也
関口	彰様	高木	史人
高橋	進様	田代	直俊
田中賢治郎様		田中	忍

問い合わせ先

東京理科大学周年募
八・八七三／F A
* e-mail: 125shunen
* URL: <http://www.t.u-tokyo.ac.jp>

金事務室 TEL 〇三・五二二
 〇二・二二六〇・四三六二
 @admin.us.ac.jp
 s.ac.jp/125/

◆金五、五〇〇、〇〇〇円 森野 義男様 (累計金一、五五〇、〇〇〇円)	田川 理子様 (累計金二、〇〇〇円)
◆金一、五〇〇、〇〇〇円 小西 敏治様 (累計金一、五〇〇、〇〇〇円)	常見 俊明様 角田 智良様 (累計金三、〇〇〇、〇〇〇円)
◆金一、〇〇〇、〇〇〇円 天野 久様 (累計金四、〇〇〇、〇〇〇円)	寺本 富彦様 島海 辰雄様 (累計金二、五〇〇、〇〇〇円)
◆金五〇〇、〇〇〇円 諏訪部充弘様 (累計金二、〇〇〇、〇〇〇円)	根本 悦朗様 長谷川智哉様 (累計金三、〇〇〇、〇〇〇円)
◆金五〇〇、〇〇〇円 佐藤 秀方様 (累計金一、〇〇〇、〇〇〇円)	林 理様 福田 容久様 (累計金五、〇〇〇、〇〇〇円)
◆金四〇〇、〇〇〇円 宮川 公治様 (累計金二、五〇〇、〇〇〇円)	矢内原勝男様 山田 建二様 (累計金四、〇〇〇、〇〇〇円)
◆金三、八〇〇、〇〇〇円 山田 義幸様 (累計金一、〇〇〇、〇〇〇円)	山田 弘行様 匿名 三 名 (累計金七、〇〇〇、〇〇〇円)
◆金三、〇〇〇、〇〇〇円 水野 澄様 (累計金五〇〇、〇〇〇円)	渡邊 一郎様 (累計金二、〇〇〇、〇〇〇円)
◆金三〇〇、〇〇〇円 江田 五男様 (累計金八〇〇、〇〇〇円)	田中 実様 (累計金二、〇〇〇、〇〇〇円)
◆金二〇〇、〇〇〇円 村井 良吉様 (累計金一、三〇〇、〇〇〇円)	石井 智様 (累計金二、〇〇〇、〇〇〇円)
◆金二〇〇、〇〇〇円 小林 節様 (累計金三、〇〇〇、〇〇〇円)	伊藤 正博様 加藤 倫子様 (累計金一、五〇〇、〇〇〇円)
◆金一九〇、〇〇〇円 櫻庭 順三様 (累計金三、〇〇〇、〇〇〇円)	菅野 祐一様 (累計金一、〇〇〇、〇〇〇円)
◆金一五〇、〇〇〇円 大柳 繁造様 (累計金五〇〇、〇〇〇円)	工藤 政勝様 近藤 繁久様 沢辺 雅二様 (累計金二、〇〇〇、〇〇〇円)
◆金一五〇、〇〇〇円 飯原 万紀様 匿名 一名 (累計金七、〇〇〇、〇〇〇円)	白濱 傳様 (累計金二、〇〇〇、〇〇〇円)
◆金一〇〇、〇〇〇円 馬場 雅子様 (累計金一、〇〇〇、〇〇〇円)	田枝 泰治様 高橋 勝様 (累計金一、〇〇〇、〇〇〇円)
◆金一〇〇、〇〇〇円 青川 清様 (累計金三、〇〇〇、〇〇〇円)	立花 宏俊様 田村 仁様 (累計金一、〇〇〇、〇〇〇円)
◆金一〇〇、〇〇〇円 阿部 治男様 (累計金三、〇〇〇、〇〇〇円)	平田 増三様 (累計金一、〇〇〇、〇〇〇円)
◆金一〇〇、〇〇〇円 井本 成俊様 旦下 大樹様 (累計金七、〇〇〇、〇〇〇円)	藤村 美佐子様 古橋 一男様 (累計金一、五〇〇、〇〇〇円)
◆金一〇〇、〇〇〇円 黒崎 弘康様 (累計金四、〇〇〇、〇〇〇円)	細川 龍也様 益満 孝二様 高野 京子様 (累計金一、〇〇〇、〇〇〇円)
◆金一〇〇、〇〇〇円 高野 京子様 (累計金二、〇〇〇、〇〇〇円)	八巻 由孝様 (累計金一、〇〇〇、〇〇〇円)

[illegible]

杉山 秋彦様 〔累計金五〇、〇〇〇円〕	手塚 秀貴様 ◇金一〇〇、〇〇〇円
高橋 秀一様 〔累計金五〇、〇〇〇円〕	大迫須奈夫様 二楠 正広様 ◇金五〇、〇〇〇円
玉置 充様 〔累計金三〇、〇〇〇円〕	鳥谷 惇様 匿名 一名 ◇金三〇、〇〇〇円
千田 修平様 中笠 正一様 〔累計金六〇、〇〇〇円〕	赤羽 正春様 〔累計金五五、〇〇〇円〕
西村 静雄様 福森 誠治様 〔累計金六〇、〇〇〇円〕	菊地 洋一様 〔累計金五五、〇〇〇円〕
宮里 郁子様 宮地 成美様 〔累計金三〇、〇〇〇円〕	八角 俊様 〔累計金五五、〇〇〇円〕
村上 誠之様 〔累計金三〇、〇〇〇円〕	【元教職員】
山極 時生様 〔累計金六〇、〇〇〇円〕	大木 正路様 〔累計金二〇、〇〇〇円〕
山口 文夫様 〔累計金一一〇、〇〇〇円〕	【教職員】
匿名 一名 ◇金五〇、〇〇〇円	原 文雄様 〔累計金四〇、〇〇〇円〕
小澤 基男様 〔累計金三〇、〇〇〇円〕	横山 和夫様 〔累計金一一〇、〇〇〇円〕
【父母保証人】 ◇金五〇〇、〇〇〇円	匿名 一名 〔累計金三三〇、〇〇〇円〕
泉 宏紀様 〔累計金二〇〇、〇〇〇円〕	森地 重暉様 〔累計金二〇〇、〇〇〇円〕
王谷 洋平様 〔累計金二〇〇、〇〇〇円〕	山田 善晴様 和田 雅美様 匿名 十一名 ◇金九五〇、〇〇〇円
大宮 喜文様 〔累計金二〇〇、〇〇〇円〕	清水 克彦様 〔累計金四八〇、〇〇〇円〕
亀山 亜土様 〔累計金二〇〇、〇〇〇円〕	眞田 克典様 〔累計金四九〇、〇〇〇円〕
澤田 利夫様 〔累計金四〇〇、〇〇〇円〕	匿名 一名 ◇金八〇、〇〇〇円
庄野 厚様 〔累計金二〇〇、〇〇〇円〕	匿名 一名 ◇金七〇、〇〇〇円
鈴木 智順様 〔累計金二五〇、〇〇〇円〕	菊地 正様 〔累計金六〇〇、〇〇〇円〕
千葉 明様 〔累計金二〇〇、〇〇〇円〕	匿名 一名 ◇金六五、〇〇〇円
早川あけみ様 〔累計金三〇〇、〇〇〇円〕	赤上 好様 〔累計金二五五、〇〇〇円〕
深谷 公明様 〔累計金三〇〇、〇〇〇円〕	上田 昌毅様 〔累計金三三〇、〇〇〇円〕
古川 猛夫様 〔累計金五〇〇、〇〇〇円〕	三井田陸郎様 〔累計金三五〇、〇〇〇円〕
三井田陸郎様 〔累計金三五〇、〇〇〇円〕	◇金五八、〇〇〇円

安藤 正海様 (累計金一四九、〇〇〇円) ◇金五〇、〇〇〇円	内海 文彰様 (累計金一〇〇、〇〇〇円)	小山 望様 (累計金一七〇、〇〇〇円)	工藤 昭彦様 (累計金二五〇、〇〇〇円)	倉淵 隆様 (累計金三二〇、〇〇〇円)	酒井 古雄様 (累計金一五〇、〇〇〇円)	坂本 正典様 (累計金一五〇、〇〇〇円)	清水 大様 (累計金三〇〇、〇〇〇円)	清水 真様 (累計金二〇〇、〇〇〇円)	浜畑 芳紀様 (累計金一〇〇、〇〇〇円)	福田 幸天様 (累計金二五〇、〇〇〇円)	星 肇様 (累計金二〇〇、〇〇〇円)	穂積 信道様 (累計金一五〇、〇〇〇円)	宮川 良男様 (累計金三三四、〇〇〇円)	村口 正弘様 (累計金一四〇、〇〇〇円)	山下 輝雄様 (累計金二二〇、〇〇〇円)	渡辺 幸人様 (累計金三二五、〇〇〇円)	匿名 五名 ◇金四五、〇〇〇円	岩崎 等様 (累計金二六五、〇〇〇円)	谷口 淳様 (累計金三二〇、〇〇〇円)	加納 誠様 (累計金四四五、〇〇〇円)	鎌倉 高志様 (累計金一〇〇、〇〇〇円)	田口 速男様 (累計金一〇〇、〇〇〇円)	宮島 純様 (累計金九〇、〇〇〇円)	宮本 岩男様 (累計金三三四、〇〇〇円)	柳田 昌宏様 (累計金三三四、〇〇〇円)	白石 幸英様 (累計金三二二、〇〇〇円)	
◆金三〇、〇〇〇円	浅野 比様 (累計金二二〇、〇〇〇円)	柴田 裕史様 (累計金八〇、〇〇〇円)	菅井 繁様 (累計金三二〇、〇〇〇円)	竹村 哲雄様 (累計金三二〇、〇〇〇円)	平田 諒二様 (累計金一〇〇、〇〇〇円)	広瀬 啓雄様 (累計金五〇、〇〇〇円)	本山 好幸様 (累計金三二〇、〇〇〇円)	矢島 博文様 (累計金三二〇、〇〇〇円)	古留 通紀様 (累計金二二〇、〇〇〇円)	匿名 二名 ◇金五、〇〇〇円	岩館 寛大様 (累計金一〇〇、〇〇〇円)	茅壁 猛幸様 (累計金一八五、〇〇〇円)	久保寺勝彦様 (累計金二二五、〇〇〇円)	匿名 一名 ◇金一〇、〇〇〇円	石渡恵美子様 (累計金一六〇、〇〇〇円)	岡本 哲様 (累計金六〇、〇〇〇円)	竹内 裕一様 (累計金八〇、〇〇〇円)	匿名 一名 ◇金一九、〇〇〇円	赤澤 豊信様 (累計金二二五、〇〇〇円)	高橋 正一様 (累計金二二五、〇〇〇円)	中村 一夫様 (累計金二二五、〇〇〇円)	匿名 二名 ◇金二、〇〇〇円	村田 英則様 (累計金三二〇、〇〇〇円)	牧 高司様 (累計金二七三、八〇〇円)	巻田 悦郎様 (累計金一一〇、〇〇〇円)	正木 舞様 (累計金四四〇、〇〇〇円)	松田 大様

匿名 一名 ◇金九、〇〇〇円	(累計金)一〇、〇〇〇円	伊藤 享子様 (累計金五八、〇〇〇円)	◆金六、〇〇〇円	天沼 秀夫様 (累計金六七、〇〇〇円)	匿名 一名 ◇金七、〇〇〇円	匿名 一名 ◇金九、〇〇〇円
様	株式会社三菱東京UFJ銀 行	様	株式会社竹中工務店様 (累計金四〇、〇〇〇円)	新零冷熱工業株式会社様 (累計金二五、〇〇〇円)	株式会社長谷工コーポレー ション様 (金二、五〇〇、〇〇〇円)	株式会社シーマエンジニア リング様 (累計金三、二〇〇、〇〇〇円)
様	株式会社熊谷組 首都圏支 店	様	株式会社アイ・ワン様 (累計金二、〇〇〇、〇〇〇円)	アルパイン株式会社様 (金五〇、〇〇〇円)	日揮株式会社様 (金二、〇〇〇、〇〇〇円)	イヒデン株式会社様 (累計金三、〇〇〇、〇〇〇円)
様	株式会社日本ドリコム様 (累計金一、〇〇〇、〇〇〇円)	様	株式会社東大大学ナレコ様 (金五〇、〇〇〇円)	株式会社社会社様 (金二、〇〇〇、〇〇〇円)	株式会社社会エヌデー様 (金五〇、〇〇〇円)	清水建設株式会社 (金七〇、〇〇〇、〇〇〇円)
内田 秀樹様 梅森 宏明様	松井 啓治様 飯塚 弘彦様 峯岸 実様 石原 孝光様	様	株式会社社会エヌデー様 (金五〇、〇〇〇円)	匿名 一社 (金二、〇〇〇、〇〇〇円)	匿名 一社 (金二、〇〇〇、〇〇〇円)	匿名 一社 (金二、〇〇〇、〇〇〇円)

田中	駿二郎	寺尾	淳良
戸沢	正義様	友永	久雄
中島	正喜様	中島	光夫
長瀬	博隆	幸次	弘孝
野村	義明様	橋本	勉
長谷部	隆三様	服部	由多
馬場	宗康様	半田	宜之
日野	登様	平沢	卓
広田	正之様	福地	清一郎
福地	栄様	福原	修三
福森	一紀様	堀内	澄夫
松本	茂雄	松本	博行
宮川	昇様	茂利	雅昭
三好	清江様	望月	茂利
森田	邦生様	矢川	明弘
安中健太郎様	柳	晴晴	
湯山得一郎様	良峯	彦秀	

池谷	政敏様	天野	貞夫
大熊	清様	香月	崇
香月	久生様	甲藤	
加藤	博様	砂崎	哲郎
多喜殿二郎様	田中	治郎	
富田	桂次様	中田	浩三
中村	洋司様	橋本	健作
早川	雅雄様	福井	洪二
松木	和男様	山形	和生

鈴木	則之様	青木	雄三
秋永	薫江様	荒井	昭造
小井	泰雄様	井上	和俊
新井	春樹様	小澤	直樹
勝田	尚哉様	河田	俊二
己斐	正彦様	美原	康介
末永	正隆様	鈴木	正巳
高木	誠治様	高橋	知也
高橋	正陽様	竹内	仁三
田辺	郁哉様	野村	英二
林田	和彦様	又川	敦志
町田	行人様	松本	和博

東京理科大学創道部昭和59年卒業生大先輩

◆金三〇〇、〇〇〇円

理窓山岳会―部体育局山部B会様

(累計金) 四六、〇〇〇円

伊原 哲史様 大川 祐司様
小原 俊様 河上 鮎帆様
小山 勉様 陶山 幸男様
藤原 瞭様 中坪 皓
渡辺 恒夫様 増永 将三

◆金一一〇、〇〇〇円

久懐会(20年理化同期会)様 ◆金六〇、〇〇〇円	東京理科大学理学部化学信州支所 様 累計金九七、〇〇〇円	大池 義高様 長田 均徳様 上島 輝一様 渡辺 演夫・隆夫様 ◆金四三、〇〇〇円	理事会茨城支部様 累計金 一九一、〇〇〇円	平田 増三様 大手 昭彦様 小貴 勝則様 片岸 信彦様 片野 明様 木村 剛男様 小林 邦夫様 柴 敬一様 鈴木 裕緑 田中 宣子様 堀野 正勝様 油井 宣子様 ◆金三五、〇〇〇円	東京理科大学八戸地区 O B 様 累計金二八、〇〇〇円	I 部軟式庭球部 O B 会様 累計金 四六、〇〇〇円	小玉研究室卒業者会(K O C H 18有志様 (累計金 一〇〇、〇〇〇円)	亀田 光昭様 24 応物会様 累計金四〇、〇〇〇円	小針 治美様 ◆金五、〇〇〇円	東京理科大学数学教育研究 様 累計金 三六五、〇〇〇円	新垣 保緑 外濠会様 累計金五〇、〇〇〇円	成田 静雄様 (つうほう会) ◆金三三、五三三、五〇〇円	個人入金額 個人 四六一名 個人 三九名 法人 二七社 団体 一五団体 一、九九九 (一五六)会 (四六一件)	寄付総額(二〇〇三年 三三、五三三、五〇〇円
-----------------------------	------------------------------------	--	--------------------------	--	-----------------------------------	--------------------------------	---	---------------------------------	--------------------	-----------------------------------	-----------------------------	------------------------------------	---	---------------------------

平成19年度 入学式

4月6日（金）に本学第6回目の入学式が挙行された＝写真。
本年度入学生は、システム工学部電子システム工学科85人、機械システムデザイン工学科69人、経営情報学部経営情報学科100人の計254人であった。同時に本学大学院の入学式が挙行され、修士課程20人が入学した。



力量と人間性を磨こう

新入生諸君へ 学長 片岡 寛

新入生の皆様、入学おめでとうございます。学部生諸君は本学の第六期生に当たり、大学院生諸君は第二期生となり、今年は大学院の完成年度の年に当たります。これまで二回の卒業生を社会に送り出し、一〇〇%に近いきわめて高い就職率をこの二年間とも実現できました。本学に入学された諸君もこの成果を受け継ぐよう勉学に励んでいただきたいと存じます。

本学では、経営と工学の融合による技術の産業化に対応できるセンスと能力を磨いた新しい人材を社会に送り出すことを目標とした特別な教育理念に基づいた学びが取められます。そのためには、意識を変えて大學生としての新たな取り組みに踏み出す覚悟をしてほしいと思います。

就職・進学

四年制大学としての第二期卒業生を社会へ送り出した。進路内定率は全体で九七・六％、そのうち就職内定率は九七・二％、進学内定率は一〇〇％であった（三月三十日現在）。

学部卒業生二百九十人の

大学や大学院では単に知識や技術を教えてもらう場だけではなく、自らが主体的・自立的に学ぶ場であります。そこでは、何を知らたいのか、何のために学ぶのか、何にかかわって生きて行くのかを常に問いかけながら、四年間あるいは二年間をかけて、自らの目標に向かって突き進んで行くための社会人としての力量と人間性を磨いてほしいと思います。

うち、就職者数二百四十七人の就職先は長野県が最も多く、次いで東京都、山梨県の順となっており、出身都道府県への定着率が高かった。業種別ではシステム工学部は製造業が約半数を占め、次いで情報通信業、

諸君たちが卒業する時には、社会は今より一層変化の激しい競争の時代になっていることでしょう。その中で、決して変えてはいけぬ理念や倫理観を堅持する強い信念、大きなリスクが想定されても果敢に挑戦し乗り越えて行く勇氣と決断力が必要となります。諸君たちの人生において、これらのことが大きくなるのか、これらによって、直ぐに直面されることでは

サービス業に就職が決定したのに対し、経営情報学部は製造業が占める割合はシステム工学部ほど高くなく、卸売・小売業、情報通信業、金融・保険業、サービス業など、幅広い分野に就職が決定した。

う。その時、自分で考え、自分で決断し、自分で実行することの出来る人間になれるよう、さあ今日から本学で挑戦していくことにしようではありませんか。

自然環境に恵まれ、歴史と文化に囲まれ、しかも諏訪という類まれな産業集積による全国や世界への技術成果の発信基地でもある茅野に立地した本学で、実り多い学園生活であらんとを願っています。

また、進学者数三十人は
本学大学院へ十九人、東京
理科大学大学院へ四人、そ
のほか北海道大学大学院を
はじめとする国公立大学
大学院へ七人が進学した。
二〇〇六年度の就職総額
は、景気回復感があつた
ものの企業は依然として雇
用採用の傾向が続いた。就
職氷河期と言われた頃から

三月二十三日（金）に第
二回目の学位記授与式が挙
行された。システム工学部
電子システム工学科八十五
人、機械システムデザイン
工学科百五人、経営情報学
部経営情報学科百人の計
百九十人が、学位記を授与
された。片岡寛学長は「こ
れまでの蓄積を社会の中で
生かし、社会から必要とさ

2期生290人

は学生の資質向上が課題となっていたが、本学では体系化した就職支援を実施してきた結果、高い就職率に繋がったと思われる。

本年度は「キャリア開発」科目を強化していくほか、インターンシップへの積極的な取り組みを行い全面的に支援をしてゆく予定である。

学位記授与式

第1期となるように、これからも自己を磨いてほしい」と祝福の言葉を贈った。

卒業生総代の機械システムデザイン工学科・藤田俊平さんは謝辞で「毎日の研究の中で、課題解決には一つひとつを突き詰めて確実に仕上げるのが大切だと実感した。今後、これまで

平成18年度
学生表彰7団体
課外活動で本学の榮譽を
高めた学生団体等を表彰す
る平成十八年度学生表彰の
対象団体が以下のとおり決
定した。表彰式は四月十二
日(金)に学生食堂で実施
された。今回は理大祭実行
委員会や授業「総合演習」
の延長で活動している団体
も表彰された。

▽学生部長表彰：硬式テニ
ス部、少林寺拳法部、
B&P部▽功労賞：理大祭
実行委員会、富士見パノ
マリゾートモニター、JAZZ
研究会▽奨励賞：ロゼッ
ット研究会

ホムフ祭の準備と行施二次の準備を伴った歌会が、

諏訪東京理科大学

News

T391-0292

長野県茅野市豊平五〇〇〇一
0266・73・1201（代表）
<http://www.suwa.tus.ac.jp/>

でとうございます。学部生
諸君は本学の第六期生に当

就職・進学
好調を維持

2期生

また、進学者数三千人は、学生の資質向上が課題となつていたが、本学では体系化した就職支援を実施してきた結果、高い就職率に繋がつたと思われる。

本年度は「キャリア開発科目を強化していくほか、インターンシップへの積極的な取り組みを行い全面的な支援をしてゆく予定である。

最後に、JAZZ研究会の伴奏により、全員で校歌を斉唱し、式を終了した。

平成18年度
学生表彰7団体
課外活動で本学の榮譽を
高めた学生団体等を表彰す

9 を 14 | 歌 云 が

平成19年度 入学式

桜薫る中、平成19年度入学式が4月10日（火）に本学5201教室で行われた＝写真。本年度は、基礎工学部電子・情報工学科59人、物質・環境工学科29人、大学院修士課程21人、博士後期課程1人、計110人の新入生を迎えた。



常に知的好奇心を持つ

新入生諸君へ 学長 塚本 桓世

山口東京理科大学は、東京理科大学の百二十五年の歴史ある伝統と実績を、ここ山口県においても展開し、サイエンスを通じて地域社会の発展に貢献するために設置された大学です。

近年、本学は、特色ある教育研究を実践し、高い評価を獲得しております。教育面においては、両学科とも日本技術者教育認定機構(JABEE)から認定を受け、世界水準のハイレベルな技術者教育を行っていることが証明されました。また、研究面では文部科学省から「都市エリア産業官連携促進事業」の中核研究機関に採択され、より高性能な次世代の液晶ディスプレイ

「1」の認定を受け、全学をあげて環境にやさしいキャンパスづくりに取り組みむなど、科学技術者教育の活性化・研究の高度化に絶えずチャレンジし、めざましい実績を挙げております。

このように、本学は、新しい歴史を創りあげるべく日々努力を重ねています

高い内定率

平成十八年度の就職内定率は、昨年と同じく九九・一%となった。さらに、これまで本学から採用実績のなかったキャノン・アネルバ、九電工、黒崎播磨、マツダE&T、矢崎総業、川エンジニアリング、日本

す。新しい社会はこれまで
の知識の延長線上に存在す
るわけではありません。

皆さんは、創造性を豊かに
にして常に知的好奇心を持
ち、専門分野に留まらない
幅広い知識の修得や体験、
さらには多くの先生や友人
との触れ合いを重ね、自ら
学ぶという能動的な姿勢を

十、就職先広げ

化学、日本食研などの企業
への就職が決まり、後輩が
進路を選択するうえで、よ
き道標が新たに加わった。

また、就職活動の支援対
策として、本学から福岡で
開催される合同企業説明会
(毎日就職EXPO2006)

学生時代の経験は、卒業して社会に出てからでは得ることができない貴重なものです。

どうぞ健康に十分留意され、一日一日を大切に、若い力を存分に発揮しながら、有意義な学生生活を過ごされるよう願っております。

平成18年度

(三)福岡)まで結ぶ無料バスを試行的に運行したところ、多くの学生が参加して大変好評であった。就職活動は企業の指定する日時、場所に移動して受験しなければならず、学生一人ひとりの準備や行動力に左右さ

三月十九日(月)に本学園書館と山陽小野田市立図書館との相互利用に関する賞書の調印式が山陽小野田市役所で行われた。調印式では、今回の調印に至るまでの経過説明の後、山陽小野田市関係者、大学関係者が多数見守る中、山陽小野

図書の江澤正思教育長と本書
書館長の菊地正教授がそ
れぞれ署名・交換し、固い
握手を交わした。

これは、昨年度本学と山
陽小野田市との間で締結し
た包括的連携協定事業の一
環として実施されるもので
、双方の図書館機能の共
用として、従来の福岡地区に加
え、広島、東京地区への無
料運行も開始した。

運行された東京地区への
バスを利用して、二月十三
日に東京理科大学野田校舎
で開催された台同企業研究
セミナーへ本学学生十九人
が参加しており、東京理科
大学との新しい連携による
成果が期待されている。

また、市民が、理工系専門
図書館が多い大学の図書館を貸
借できる等、相互の図書館
の利便性や機能が向上する。
調印後の挨拶の中で菊地
館長は「このたび相互利用
を開始するにあたり、よろ
やく地域社会に開かれた図
書館として、第一歩を踏み
出すことができる。人文交
会系の図書が豊富な、市立
図書館が身近になるのは、
本学学生にとって非常に幸
いがたいことだ」と感謝の
意を示した。

今後は、双方図書館の交
流が一層深まり、本学図書
館に來場する市民の方々の
増え、図書館事業の活性化
が大きいと期待できる。

化も書文のあり方、立社、図、用地、9 路、頁、

山口東京理科大学

News

〒756-0884

山口県山陽小野田市大学通一一一
083688・3500(代表)
<http://www.yama.tus.ac.jp>

山口東京理科大学で希望と夢を実現するために、入学された新入生の皆さん、

山陽小野田市立図書館と
本学図書館の相互利用調印

有化を推進するのが狙い。本学学生が、市立図書館まで行かなくても大学で市立図書館の図書を貸借でき、

*博士は、課程・論文とも平成19年3月20日付授与者のみ集計。平成18年度博士の学位授与総数は110名。

東京の最先端スポット、六本木ヒルズ森タワーの33階が曾我さんの仕事場J-WAVE 81・3FMである。「ここが東京のすべてじゃない。これが常識と違ってはいけな」と、美しく飾った世界に流されず、大都会の隅々にまで心配りをしながら、ラジオと一体となつて歩む曾我さんの日々がある。

機械と音楽と放送。子どもの時から、この三つが好きだった。スピーカー、ロボットのプラモデルに夢中になった。小学校で放送委員会に属し、お昼や運動会の放送をし、高校ではミニFMの電波を自分たちで飛ばした。大学ではバンドを組み、また理大祭ではDJもやった。それが今日につながっている。ぶれない人生と言える。

ただ、就職は自動車業界にしようと思ったのを変更した。「ボクはせっかちなんです」と笑う。

車づくりだと結果が見えるのが、数年先になる。ところがラジオは違う。電波を飛ばせば常に数十万の人たちが必ず聞いてくれている。「おはようございます」という「おはようございます」とすぐEメールで返ってくる。

「それが楽しく、またボクらの活力になる」と曾我さん。



★略歴(そが・ともあき) 1968年東京都生まれ、90年理工学部機械工学科卒、92年大学院理工学研究科修了。番組制作会社勤務やフリーの仕事を経て、J-WAVE制作部プロデューサー。06年4月に独立。現在月〜木曜午後2時からの「RENDEZ-VOUS」など3番組を担当。



六本木ヒルズから発信中！
ラジオ番組プロデューサー

曾我 友亮さん

ラジオ制作の魅力はまた、仕事を通じて素敵な人に会えること。そこから学ぶことは尽きない。

J-WAVEとの縁は大学四年の夏、サマーセミナーに参加した後、秋からAD(アシスタントディレクター)の仕事させてもらった。大学院二年生の一月、パリとニューヨークと東京を結ぶ音楽とカルチャー主体の番組のディレクターに任された。

大学時代からラジオの世界に飛びこんで、これだけいいのかと自問自答したのが二十八歳のときだった。このままでは視野が狭くなる。もっと自分の引き出しを持ちたい。そこでワーキング・ホリデー・ビザで一年間、カナダのバンクーバーに遊学した。運良く現地IT企業の仕事につき、インターネットの知識を得て帰国した。

曾我さんがいまプロデューサーする番組は海外ものが多い。国民性の違い、相手のペースなどを熟知して、周囲が「海外ものなら曾我さん」と見ているからだ。

現在、週三本の番組を担当する。音楽やファッションなどアメリカに偏らない多様な価値観、そしてまことにいま現在の感覚を世界から伝えたい。その思いを電波にのせた刺激ある番組群である。

平成18年度

学生表彰 & 学長表彰

5人と2団体・3人に

平成十八年度に優れた成果を挙げた学生を表彰する「学生表彰式」と「学長表彰式」が、三月に神楽坂キャンパスで行われた。

研究等の成果や学業の成績が特に優れている者を対象として表彰された。

象とする学生表彰式は、三月八日、近代科学資料館特別会議室で開催。学部から統計関連学会連合大会コンペティションで優秀報告賞を受賞し、学術論文三編、国際会議口頭発表二件等の業績を挙げた。

西山貴弘さん(理研・数)
岩澤英明さん(理研・物理・博2年) 二〇〇六年度
上浦尚子さん(理工研・工化・修2年) アメリカ・コロラド州デンバーで開催された米国電気化学会の

西山貴弘さん

岩澤英明さん

上浦尚子さん

川村英雄さん

古城達則さん



学長と共に学長賞の合気道部のメンバー



学長と共に学長賞のソフトボール部メンバー



学長と共に学長賞の左から豊嶋君、岸野さん、日比野君

● 学長賞 ●

受賞団体・個人の主な成績・記録

I 部体育局合気道部(神楽坂)
第46回全国学生合気道演武大会出場
第36回中四国学生合気道演武大会出場(関東代表)

I 部体育局ソフトボール部(野田)
第14回関東学生ソフトボール選手権大会優勝
第41回全日本大学ソフトボール選手権大会出場
関東学生ソフトボール春季および秋季リーグ戦(I部)準優勝

岸野 知佳(I部体育局舞踏部・神楽坂4年)
豊嶋 希春(II部体育局舞踏部・神楽坂4年)
第78回東部日本学生舞踏ダンス選手権大会チャチャの部およびサンバの部優勝
第44回全日本学生舞踏ダンス選手権大会ラテンの部優勝
I. D. S. F Taipei International Open University Latinの部4位

日比野 裕輔(I部体育局水泳部・野田4年)
第18回フィンスイミング日本選手権大会(1500m)優勝
第14回フィンスイミング世界選手権出場資格獲得

● 学生部長賞 ●

I 部体育局硬式庭球部(神楽坂・野田)・硬式テニス部(久喜)
関東理工科大学団体テニスリーグ戦(第1部・男子)優勝
関東理工科大学団体テニスリーグ戦(第5部・女子)優勝[4部昇格]

I 部体育局バドミントン部(男子)(神楽坂・野田)
関東大学バドミントン春季リーグ戦(第4部B・男子)優勝[3部昇格]
関東大学バドミントン秋季リーグ戦(第3部A・男子)3位

I 部体育局洋弓部(女子)(神楽坂・野田)
関東学生アーチェリー女子リーグ戦(第2部)優勝[1部昇格]

I 部文化放送研究部(神楽坂)
第23回NHK全国放送コンテスト(映像CM部門)3位

高梨 誠(I部体育局陸上競技部・野田4年)
第85回関東学生陸上競技対校選手権大会(2部)100m6位/4×100m6位

早川 賀雄(II部体育会柔道部・神楽坂4年)
第53回新宿区民柔道大会(式段の部)8位

● 特別功労賞 ●

東京理科大学管弦楽団(I部 神楽坂・野田・久喜)
創立125周年祝賀会で格調高く校歌を演奏し、聴衆を魅了した。さらに入学式、学位記・修了証書授与式での演奏も評価に値する

創立125周年記念学生行事神楽坂地区実行委員会
化学実験体験コーナーや地元商店街と協力のオリジナルグッズ販売、「みらい研究室」開催等で中心的な役割を果たした

創立125周年記念学生行事野田地区実行委員会
スポーツフェスティバル(ソフトバレー)、国際交流のつどい、立休ビンゴ、東京理科大学の歴史展等で中心的な役割を果たした

創立125周年記念学生行事久喜地区実行委員会
本学卒業生や著名人を招聘した講演会やトークショー、地元中学校吹奏楽部の演奏、模擬店、花火大会等で中心的な役割を果たした

● 功労賞 ●

体育祭実行委員会(神楽坂・野田・久喜)
準備期間の少ない中、競技種目、運営に工夫をこらし、夜後祭では地域と連携しての和太鼓演奏等で体育祭を成功に導いた

理大祭実行委員会(神楽坂)
初の神楽坂・九段校舎同時開催となったが、ライブ、講演会、地域に密着した神楽坂写真展等、多彩な企画で祭典を成功させた

理大祭実行委員会(野田)
地域住民を含めた交流の場を作り上げた。特に歌手の奥華子さんのコンサートや元巨人軍の元本大介さんの講演会は大盛況だった

理大祭実行委員会(久喜)
「理 show」をテーマに各種ライブをはじめ、オープンキャンパスや父母懇談会、サイエンス夢工房なども開催し、理大祭を成功に導いた

佐野 真二(I部体育局局長) 他本部役員計19名
早川 賀雄(II部体育会会長) 他本部役員計7名

General Student Poststarセッションで最優秀賞を受賞。日本の電気化学会の学会誌で紹介された。

川村英雄さん(理工研・機械・修2年) 乱流伝熱の国際会議で優秀論文と認められ、国際学会誌への掲載が決定。また、日本伝熱学会第四十三回日本伝熱シンポジウムで優秀プレゼンテーション賞を受賞した。

古城達則さん(理工研・機械・修2年) オーストラリアのシドニーで開催された第十三回国際伝熱会議(四年に一度開催される伝熱のオリンピックとも言われる国際会議)で学生最優秀ポスター賞を受賞。これは学生最優秀賞として日本から唯一、修士課程学生で唯一の受賞である。

また、課外活動や社会活動において、優れた功績や評価を受けた者を対象とする学長表彰式は、三月九日に日本出版クラブ会館で開催。学長・理事長や学部長らをはじめ教職員、受賞者など二百名以上が見守るなか、学長賞に二団体と個人、学生部長賞に四団体と個人二人を始め、総勢、団体の部十七団体、個人の部三十五人が表彰された。

*学長表彰は別表の通り。

● 特別奨励賞 ●

白川 雄一郎(I部文化会囲碁部・神楽坂1年)
第43回全日本学生囲碁十傑戦準優勝

● 奨励賞 ●

I 部体育局柔道部(神楽坂・野田)
全日本理工科学生柔道優勝大会4位/関東理工科四大学柔道対抗戦(春季)優勝/東京理工科四大学柔道対抗戦優勝

I 部体育局サッカー部(野田)
千葉県大学サッカーリーグ(秋季1部リーグ)3位

I 部体育局バレーボール部(久喜)
春季理工系リーグ戦(5部)優勝[4部昇格]/春季同好会リーグ戦32位

佐藤 洋(I部体育局硬式テニス部・久喜2年)
廣田 哲也(I部体育局硬式テニス部・久喜2年)
関東理工科大学個人テニストーナメント大会(ダブルス)準優勝

持田 俊彦(I部体育局ウエイトトレーニング部・神楽坂修士1年)
第52回埼玉県バレーフライング選手権大会(82.5kg級)新人賞

続 平成18年度 本学学生の各種論文・研究発表等の受賞 一覧

(平18・11月〜)
(平19・3月)

受賞者(所属・学年は受賞時)	受賞名	大会・学会名	受賞テーマ等	受賞日
宮川 利文(理研・化学・修1)	若手講演賞	第52回有機合成化学協会関東支部シンポジウム	ジクロロメチルフェニルホルムキッドを活用する4置換フラン類の新規合成法	12月3日
高木 陽平(薬研・薬学・修2)	若手講演賞	第52回有機合成化学協会関東支部シンポジウム	デカヒドロフルオレン骨格を有する新規抗腫瘍性物質GKK1032類の全合成研究	12月13日
峯澤 彰(理工研・電気・修1)	学生優秀発表賞	2006年映像情報メディア学会冬季大会	動き補償と適応3次元予測に基づいた動画の可逆符号化・予測器の数に関する検討	12月12日
脇 直也(理工研・電気・修1)	Young Researcher IEEE CAS Japan Chapter Sponsorship Award	2006 IEEE International Analog VLSI Workshop	論文「A Two-Path Fourth-Order Bandpass Delta-Sigma Modulator with Reduced Number of Opamps」で筆頭著者・脇直也さんが優秀若手研究者として表彰された	11月16日
植村 豪(理工研・機械・博2)	毛利賞	日本マイクログラフィティ応用学会第22回学術講演会	微小重力実験におけるポータブルCDプレーヤーを用いたジャイロ効果。毛利衛宇宙飛行士(日本科学未来館館長)主催の毛利ポスターセッションで最優秀発表として受賞	11月30日
中尾 一久(基工研・生物・博2) 森田 梨津子(基工研・生物・修2) 佐次 泰光(基工研・生物・修1) 石田 研太郎(同) 小川 美帆(同)	IEEE Best Poster Award (ベストポスター賞)	MHS2006 & Micro-Nano COE (2006 International Symposium on Micro-NanoMechatronics and Human Science)	The Reconstruction of Bioengineered Organ by Cell Manipulation	11月8日
中尾 一久(基工研・生物・博2)	日本臓器保存生物医学学会賞	第33回日本臓器保存生物医学学会	臓器置換再生医療を目指した人工器官原基からの臓器形成技術の開発	11月24日
高澤 和俊(経営・経営・2年)	文部科学大臣奨励賞	工業英語能力検定試験(3級) 平成18年度社団法人日本工業英語協会主催	毎年度工業英検の各級合格者のうち成績優秀者1名に授与されるもの	3月16日

【宛先】〒162-8601 神楽坂 東京理科大学 広報課
【FAX】03-3260-5823 【E-mail】koho@admin.tus.ac.jp

「意見・感想をお待ちしています！」

平成19年度入試 改革さらに推進

減することとしました。

この学生数削減により、法人全体で四千三百三十五人の減収が見込まれることから、この減収を少しでも補うため理学部第二部の平成二十年度入学生の授業料を平成十九年度入学生と比

こととなりました。その結果、減収は千四百四十万円、圧縮され、二千八百九十五万円となります。

（今回の学費改定は、平成二十年度新入学生に対して実施されるものであり、在学生の学費は改定されません）

- 上記の他、学生傷害共済補償費を徴収する
- 平成20年度初年度納付金は、前年度据置きである
- 施設設備費は、入学年度の納入とする
- 修士:学校法人東京理科大学の設置する大学を卒業し、諏訪東京理科大学大学院修士課程に
進学者は、入学金および施設設備費を半額免除とする